eLAつうしん
ラインズｅライブラリ
2026年11月号 Vol.279



山梨県笛吹市立 春日居中学校

自律学習と学習習慣の定着に向けて

～確認テストのナビゲーション機能を活用～

春日居中学校では、学校経営の重点として社会の変化に対応し、「生きてはたらく力」を育む教育課程の編成と実施に努めています。今回はその実現の方策の一つで、ラインズｅライブラリを小テストに活用した実践をご紹介します。

小テストにラインズｅライブラリを活用



▲ナビゲーションされた教材に取り組む

国語 **3年：古文（古文の特色）**

春日居中学校では、金曜日の15分活動にラインズｅライブラリの確認テストで小テストを実施しています。この日は国語の「古文の特色」のテストが配信され、生徒たちは黙々と問題に取り組んでいました。

テストが終わると、**テスト結果画面で自分の理解度を確認する生徒や、苦手なところをナビゲートされるドリルで復習する生徒がいました。また、次のテストに向けてドリル問題に取り組む生徒など、それぞれが自分に合った方法で学習を進めていました。**

確認テストのナビゲーション例



▲確認テストを実施

採点後





▲学習内容ごとに自分の理解度を確認しナビゲーションされる復習教材に挑戦

インタビュー 小テストの実施で生徒と教員の活用率が向上

今年度からラインズｅライブラリを活用した小テストを始めたところ、**生徒たちのドリル教材への取り組み数は昨年度に比べ大幅に増加しました。**普段の様子を見ていてもテスト開始直前まで粘り強く演習する生徒や、休み時間を使って次回のテストに備える生徒など学習に取り組む生徒が多くなったと感じます。

教員側もテスト前の課題出題を積極的に行うなど、ラインズｅライブラリの活用が一層進んできました。学習履歴を授業にどれだけ反映させるかは担当によってさまざまですが、昨年度より課題の出題頻度が上がり、内容を工夫する先生が増えたと感じています。



情報担当
椚 敦 先生

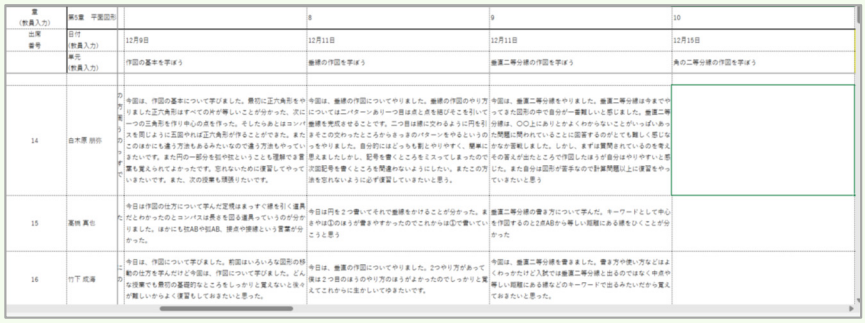
週替わりの小テストで学習を見通す



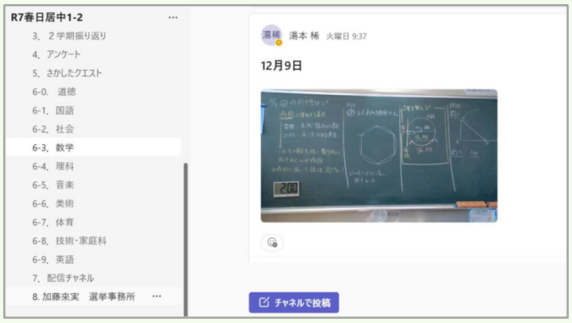
▲確認テスト終了後、次のテストに向けて学習

昨年度は教科ごとの単元末テストの時期がバラバラだったため、生徒や保護者から「テスト勉強が重なって大変」「学習の見通しを立てたい」といった声が上がっていました。そこで今年度は国語・数学・理科・社会・英語の小テストを週替わりで実施することにしました。教科書や副教材のワーク、ラインズｅライブラリの該当箇所を範囲票で示し、生徒が自主的に学習を進められるようにしています。また、**小テストの結果や日々のドリルへの取り組みを、「知識・技能」もしくは「主体的に学習に取り組む態度」の評価に反映させている教科もあります。**

ICTを活用した春日居中学校の取り組み



▲ Excelのふりかえりシート
列で見ていくとクラスメイトのふりかえりを参照できる



▲ Teamsに板書をアップロード
消した板書をモニターに映し出し、
現在の板書と比較することも可能。

インタビュー　ICT×ふりかえりで深まる学び



授業ではふりかえりを重視し、ICTを活用してそれをしやすい環境を整えています。生徒は毎時間、Excelのふりかえりシートに記入し、単元末には印刷して手元に残すことで自分の学びをふりかえります。さらに、板書の写真をTeamsに毎時アップロードすることで、次回の授業でもスムーズに復習できるようにしています。Excelを使うことで他者参照もしやすくなったため、今後は「他の人の意見を見て自分の考えがどう深まったか」まで書き込めるよう指導していきたいです。

また、本校では個人探究プログラム「さかしたクエスト」を実施し、失敗をもとに自律的に探究を深める姿勢を育んでいきたいと考えています。教科学習においても、テストやドリルの点数だけでなく、繰り返し問題演習に取り組むプロセスを重視し、学習習慣の定着を目指しています。**ラインズｅライブラリでの学習は敷居が低く、生徒が主体的に取り組みやすいため、学習習慣の獲得にも役立つと期待しています。**

LINES
学ぶチカラを、未来のチカラに

ラインズ株式会社
〒169-0051　東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス
TEL:0120-49-7130　FAX:03-6861-6006
https://www.education.jp/ela_school